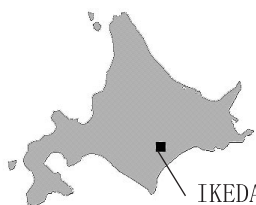


No. 26 2005, Apr.

天地金乃神大祭号



IKEDA Tow.

☎ 01557-2-2322

FAX 01557-2-4213

十勝教会



だより 26

<http://city.hokkai.or.jp/>

金光教十勝教会

〒 083-0001

池田町旭町 1 丁目 9 番地 21

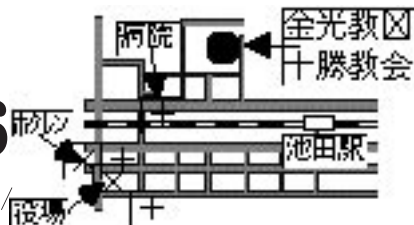


写真 - 祭詞を奏上される教主金光様

天地金乃神大祭を迎えて

「天地」四月号より

天地金乃神大祭が、四月一日から四回にわたって、教主金光様ご祭主のもと本部において仕えられ、続いて、全国各地の教会で厳かに執り行われます。天地金乃神大祭は、私たち人間の親神である天地金乃神様の広大なおはたらきにお礼を申し上げるとともに、「生神金光大神取次によって、神と人といふよかけよで立ち行くあり方を世界に顕現する」とのご神願成就を、勢をそろえて祈願させ

させ

ていただく祭典です。

天地金乃神大祭を迎えるに当たっては、天地金乃神様のご内容や独自性を、教祖伝『金光大神』や『金光教教典』をとおして、あらためて頂いていくことが願われています。そこで、教祖伝のなかで、「此の方は神が違う」という趣意が記された三つの個所に注目してみましよう。

その一つは、『お札やお守りの代金などで利益を得るといふような神とは、此の方は神が違う』と、お知らせになった。天地金乃神は、人がおかげを受けて真心から供える物は受け取るが、利益を目当てにする神ではないと、改めて明言された（三三七頁）と、おみくじやお札による利益にかかわって記された個所であり、二つには、「此の方の神を氏神と同様に考えるのなら、宮をどこへなりと建てればよいが、此の方の神は神が違うと考えるのなら、此の方の地内に建ててください」（三五二頁）と、社地購入にかかわって記された個所である。そして三つには、「その時、二人は、『金乃神』の神名にちなんで、金山彦尊の分霊を勧請してまつり、金光大神の広前をその崇敬講社として、布教の方途を立てるように提案

した。佐藤は広前に戻り、金光大神にこの提案を伝えて、意向を伺った。金光大神は言下に、『此の方の神様は違う。そのとおりにはできませんと伝えてくれ』と厳然たる態度で答えた（四四三頁）と、布教認可の取得にかかわって記された個所です。

このように教祖伝には、教祖金光大神棟が、当時の時代社会のなかにあつて、天地金乃神様を、時の慣習や政治動向に動かされることなく、何としてでも純粹に人助けのはたらきを現す神様として守り抜こうと尽力されたお姿が描かれています。

○

教祖金光大神様が出会われ、私たちに伝えようとされた天地金乃神様は、「天と地の間に人間がいる。天は父、地は母である。人間、また草木など、みな天の恵みを受けて、地上に生きているのである」、「お天道様のお照らしなさるのもおかげ、雨の降られるのもおかげである。人間はみな、おかげの中に生かされて生きている。人間は、おかげの中に生まれ、おかげの中で生活をし、おかげの中に死んでいくのである」とのご理解にあるように、人間をはじめ、生命あるすべてのものを包摂

し、それらを生かしはぐくむ神様なのです。天地に満ちわたるそのおはたらきの大きさをゆえに、周囲に十分な理解が得られていくことは難しいことであつたでしょう。当時の因習とか伝統的な神観念や信心観に引きつけてしか天地金乃神様を理解できず、村の氏神のように扱おうとする動きもありました。そうしたなか、教祖様は、神を商法に使ったり、明治維新政府が進めようとしていた神道国教化政策とは常に一定の距離を保つ立場を死守されたのです。

世界・人類の救済を願われる天地金乃神様が、当時の日本社会の枠組みに収まるはずもなく、そうであるがゆえに、教祖様は、宗教的権威者や政治的権力者等との緊張関係に絶え間なく直面されていきました。「此の方は神が違う」とは、そうした状況のなかでの宣言だったのです。

また、天地金乃神様は、「人間がおかげを受けないで苦しんでいるようでは、神の役目が立たない。人間が立ち行かなければ、神も金光大神も立ち行かない」、「きれいずくをしては、人は助からない。天地金乃神は、きれいずくをしない神である」と語られたように、

我情我欲を離れがたい人間を、どこまでも神のいとし子として慈しみ、私たちに寄り添って、人間のもつきれいごとでないあらゆる難儀に道をつけてくださろうとする神様です。しかも、「神と人といふかけよで立ち行く」あり方をもって、世界・人類の救済を願われ、そのご神願実現のために、金光大神様に、ひいては信心するすべての人に、「天地金乃神を助けてくれ」とまで呼びかけられています。このように神様から人々に呼びかけられるあり方は、他の宗教に類をみないことであり、このことのなかにも「此の方の神は違う」という本教神観の独自性が含まれていると言えるでしょう。

天地金乃神大祭を迎えるに当たり、私たち信奉者は、そのような世界を包み込む神様を頂いていることの喜びと、天地金乃神様のおかげのなかですべてが生かされているありがたさをかみしめ、人類救済のために差し向けられた教祖生神金光大神様の御取次の意義を確かにして、ここからいつそうにご神願成就のお役に立たせていただきたいと念願するものであります。

（金光教報「天地」四月号より）

十勝教会 日誌

十勝教会のできごと（平成十七年二月十一日から）



恒例の信徒総会が、二月十一日に行われました。十六年度事業会計報告、十七年度事業計画と予算が採択されました。また、信徒会役員の改選が行われ、役員が再任されました（写真上段右下）。総会後は鍋料理とビンゴゲームで懇親会を楽しみました。



2 ・ 13	帯広市、I 家合同感謝祭。
2 ・ 14	帯広市、N 家式年霊祭。
2 ・ 14	十勝ボランティアセンター運営会、教会長出席。
2 ・ 15	保護司特別研修会、阿寒町、教会長出席。
2 ・ 19	北海道教区「運動」推進協議会、札幌、千鶴子先生出席。
2 ・ 21	北海道商会福祉協議会地域部会総会、札幌、教会長出席。
2 ・ 23	士幌町、M 家式年霊祭。
2 ・ 27	幕別町、K 家、式年霊祭。
2 ・ 28	佐呂間町、T 家、式年霊祭。
3 ・ 3	保護司研修会、教会長出席。

3 ・ 13	道東地区教会連合会総会、阿寒町、4 名出席。
写真―道東地区教会連合会総会 平成十七年度道東地区教会連合会総会が、三月十三日、阿寒ビューホテルで行われました。役員の改選で三浦弘氏が道東地区信徒会の副委員長に、千鶴子先生が運動推進員に選任されました。道東地区の各教会の大祭日程、パークゴルフ大会、研修会の日程は巻末をご覧ください。	
3 ・ 19	帯広市、I 家式年霊祭。
3 ・ 20	教会春季霊祭。（写真は次ページ）





写真—春季霊祭
 霊前に祭詞を奏上する教会長（右上）、参拝者玉串奉
 奠（右下）、祭典後は毎年恒例、「おはぎ」でお直会



4
 ・
 5 陸別町、薫別講社天地金乃神大祭。

4
 ・
 3 歌志内市、Y家、式年霊祭。



写真—勧学祭
 祭典後の記念撮影。
 今年も多くの若者
 が新しい一歩を踏
 み出しました。

4
 ・
 1 勧学祭

3
 ・
 27 芽室町、M家、式年霊祭。

4
・
10

大祭前大掃除・ご用打ち合わせ。
月例霊祭にあわせて、大掃除とご用打ち合わせを行いました。



写真－大祭前大掃除

今年は、例年になく雪解けが遅く、外回りの作業は雪割りが中心になってしまいました。

4
・
10
古切手の計数作業。

大掃除の後に、みなさんが寄付してくださった古切手の集計作業を行いました。その数ナント
二二、二四〇枚！
社会福祉協議会に寄付させていただきます。



道東地区各教会・関係教会大祭日程

釧路	5 月	8 日	10 月 23 日
北見	5 月	3 日	11 月 3 日
帯広	4 月 24 日	11 月 6 日	
網走	5 月 22 日	10 月 30 日	
滝上	5 月 28 日	10 月 2 日	
夕張	4 月 29 日	11 月 3 日	
函館	5 月 13 日	11 月 13 日	

あいよかけよの集い

「あいよかけよの生活運動」の理解と実践のための楽しい勉強会です。

日時 6 月 19 日（日）13 時 30 分
会場 釧路教会
講師 西川太先生（札幌南教会長）

十勝教会の行事祭典日程

上半期感謝祭	6 月 26 日（日）
教会創立記念祭・布教功労者報徳祭	8 月 16 日（火）
秋季霊祭	9 月 23 日（金）
生神金光大神大祭	11 月 20 日（日）
越年感謝祭	12 月 31 日（土）
社会奉仕の日・懇親パークゴルフ	7 月 17 日（日）
境内清掃	6 月 26 日（日）
秋大祭前大掃除	11 月大祭前日曜日

道東地区教会連合会交流パークゴルフ大会

日 時 7 月 3 日（日）
会 場 網走近郊
参加〆切 6 月末日
詳細は決まり次第ご案内します。

- 先 祭員着席
- 次 拝 礼
- 次 神前拝詞奉唱
- 次 取次唱詞奉唱
- 次 祭主祭詞奏上
- 次 祭主玉串奉奠
- 次 天地書附奉体
- 次 参拝者代表玉串奉奠
- 次 神徳賛詞奉唱
- 次 神人の栄光斉唱
- 次 拝 礼
- 次 祭員退下
- 吉備舞奉納
- 舞人 玉置るみサン
- 御神伝奉読
- 講師 紹介
- 講話 金光教網走教会長
- 講師 菊川松次郎先生

♪ 神 人 の 栄 光 ♪

一、 天地は神のふところ
人はみな神のいとし子
かぎりなき神徳のなかに
生かさるるわれ等うれしき

二、 人の世にとわの光を
いとし子につきぬみかげを
誓わしし教祖の神に
救わるるわれ等うれしき

あいよかけよの生活運動

願 い

わが心の神に目ざめ

祈り、対話、行動をもって

神を現す生活をすめ

共に助かる世界を生みだそう



KONKORYO
金 光 教

食 前 訓

食物はみな人の命のために
天地乃神のつくり
与え給うものぞ
何を食うにも飲むにも
ありがたく頂く心を忘れなよ

食 後 訓

体の丈夫を願え
体をつくれ
何事も体が元なり